

(公財) 地震予知総合研究振興会
長岡平野西縁断層帯の活動性評価に関する研究委員会 (第6回)

概要報告

1. 日 時 平成24年11月5日(月) 13:30~17:00

2. 出席者

主査	東北大学	名誉教授	長谷川 昭
委員	東京大学	名誉教授	阿部 勝征
	産業技術総合研究所		阿部 信太郎
	東北大学	准教授	岡田 知己
	防災科学技術研究所		岡田 義光
	東京大学地震研究所	教授	小原 一成
	東京大学	名誉教授	金沢 敏彦
	日本大学総合科学研究所	教授	工藤 一嘉
	東京大学地震研究所	准教授	酒井 慎一
	名古屋大学	教授	鷺谷 威
	防災科学技術研究所		関口 渉次
	東京大学地震研究所	教授	平田 直
	株式会社ホームサイスマメータ		堀内 茂木
	顧問	東北大学	名誉教授
(公財) 地震予知総合研究振興会会長			高木 章雄
事務局	(公財) 地震予知総合研究振興会		

(敬称略)

3. 議第

- (1) 平成24年度上半期の活動報告
- (2) 新潟県南部地域における微動・地震動・GPS連続観測およびMT法電磁探査

4. 委員会の状況

平成24年度上半期の活動報告として①地震活動状況等について、②自動震源決定の改良について、③GPS観測結果等について、④連続観測記録に基づく長岡深部S波速度構造の推定について説明があったのち、新潟県柏崎市から南魚沼市に至る範囲で行われた探査結果について紹介があった。

(1) 平成24年度上半期の活動報告

平成24年度上半期の活動報告が行われた。

- ① 本検討で整備した稠密地震観測網（AN-net）の維持管理状況および地震活動状況の説明が行われ、委員会では、東北地方太平洋沖地震後の検討対象領域における地震発生状況について意見交換が行われた。
- ② 自動処理システムにおける震源決定に関して、精度向上に向けた検討状況について説明が行われた。委員会では、処理内容に関する意見交換が行われ、引き続き改良を進めることが確認された。
- ③ GPS観測結果等について、観測網の維持管理状況及びデータ処理の状況について説明がなされた。データ処理においては米国のGPSのみならずロシアのGLONASSも組み合わせた解析により精度向上が期待されることが紹介された。また、検討対象領域の地殻変動の特徴とそれを説明する変形モデルに関する検討状況が説明されたが、委員会では、多くの情報を踏まえたより詳細なモデルを作るような努力が必要であるとの意見があった。
- ④ AN-netの上下動記録を用いて、深いS波速度構造の推定を試みた結果について説明が行われた。委員会では、検討結果の特徴・解釈について意見交換が行われた。

(2) 新潟県南部地域における微動・地震動・GPS連続観測およびMT法電磁探査

新潟県柏崎市から南魚沼市に至る範囲に微動・地震動観測点、GNSS観測点からなる観測網を構築し連続観測を行うとともに、微動アレイ探査、さらに観測網の中心部を通るMT法電磁探査を行った結果について紹介された。委員会では、今後の検討スケジュール等について質疑が行われた。

以 上